

令7年度 第2回 石川中央都市圏地域公共交通協議会  
議事概要

【概要】

日時：令和8年3月30日（月） 10時00分～

場所：金沢歌劇座 大集会室

【次第】

1 開 会

2 挨拶

3 議事等

<審議事項>

議案第1号 地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）に係る計画別紙の変更（案）

議案第2号 令和8年度収支予算（案）

<報告事項>

報告第1号 北陸鉄道線を中心とした広域公共交通ネットワーク再生戦略の進捗報告

① 北陸鉄道線鉄道事業再構築実施計画の推進について

② 北陸鉄道株式会社からの報告

（鉄道線利用状況、整備事業・利便性向上策の報告、  
新型車両のデザインについて）

4 閉 会

【会議の様子】



【議事記録】

1 開 会

2 挨拶

(会長)

本日は天気に恵まれ、今週末は花見日和のようである。先週の新聞に「いしかわ里山里海サイクリングルート」について、「いしかわ里海めぐりルート」と「白山手取川ルート」がナショナルサイクルートの候補に選定されるという記事があった。「ナショナルサイクルート」は2019年から国が指定し、現在6つのルートが選ばれている。「いしかわ里山里海サイクリングルート」は2016年から整備を行い、地震の影響を受けながらも指定を目指してきた。北陸鉄道石川線もルート上にあるため、おそらくサイクリストが乗られるだろうと思っているが、少し残念に思っていることは、北陸鉄道のホームページは多言語（4言語）対応しているが、サイクルトレインの情報について、日本語ほど多言語の情報が充実していないように思う。もし指定を受ければ多くのサイクリストが石川線に乗って「白山手取川ルート」に行かれることになるので、ぜひもう少し詳しく掲載いただけたらと思う。今回の議題とは直接関係はないが、明るい話題として紹介させていただいた。さて、本日は、国に申請している計画別紙の変更や令和8年度収支予算に関する審議事項のほか、北陸鉄道線再構築事業に関する報告事項があるとお聞きしている。活発な意見交換をお願いしたい。

### 3 議事等

#### 議案第1号 地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）に係る計画別紙の変更（案）

(会長)

ただいまの議案に対してご意見・ご質問等はあるか。特にご意見がないようなので、ご承認頂ける方は拍手で承認頂きたい。

一同拍手にて承認

#### 議案第2号 令和8年度収支予算（案）

(会長)

計画策定検討調査について、国の補助がとれなかった場合はどうなるのか。

(事務局)

内示額を見てからになるが、確保できた予算のなかでどこまでできるのか、また、市町で追加の負担金を拠出する必要があるか、関係市町と協議検討してまいりたい。

(会長)

その他にご意見・ご質問等はあるか。特にご意見がないようなので、ご承認頂ける方は拍手で承認頂きたい。

一同拍手にて承認

#### 報告第1号 北陸鉄道線を中心とした広域公共交通ネットワーク再生戦略の進捗報告 ①北陸鉄道線鉄道事業再構築実施計画の推進について

## ②北陸鉄道株式会社からの報告

(鉄道線利用状況、整備事業・利便性向上策の報告、新型車両のデザインについて)

(会長)

ただいまの報告に対してご意見、ご質問等はあるか。

(A委員)

白山ジオパークの観光キャンペーンに関連して、白山市の白峰に「白山砂防科学館」があるので、バスのルートやデジタルきっぷ等に入れていただくなど検討いただければと思う。

(B委員)

白山ジオぐるパスのパンフレットのなかで、「白山砂防科学館」を記載させていただいているので、このような形で連携を進めさせていただければと思う。

(会長)

野々市工大前駅のリニューアルに関して、イベントでも利用できそうだが、その場合はどのような手続きとなるのか。

(C委員)

イベント管理について野々市商工会様に検討いただいているので、調整ができましたらお示ししたい。

(会長)

浅野川線の除雪車が軌陸両用となっており、写真ではタイヤは見えるが車輪はどのようなになっているのか。

(C委員)

線路を走るときには鉄輪が出るようになっており、駅の構内を走るときはゴムタイヤで走るようになっている。

(会長)

新造車両のデザイン案の投票は同じ人が何度でも投票できるのか、それとも一人一票になるのか。

(C委員)

ホームページでの投票については、グーグルアカウントで投票いただくことになるので、基本的に一人一票となるが、駅にて紙で受付するものについては複数投票を防げない場合もある。

(D委員)

今回は明るい話題、前向きな議題が増えたような気がしており、嬉しく思っている。ただ、その背景には国、県、市町の補助金が入ったこともあると思うが、その中には住民の税金が入っており、さらに利用の際に運賃も払っていることから、北陸鉄道はダブルの責務を

負っていると言える。これから人口も減っていくなかで、今回は利用者が増えた様子がみえるが、永久に続くわけではない。北陸鉄道には再び暗い話題にならないように、将来を見据えた方針をしっかりと立てていただくようお願いしたい。

**(E委員)**

新造車両のデザインについて非常に楽しみに思っ説明をお聞きした。カラーバリエーションが3つあり、1と2は6色展開、3は1色展開とのことだが、パッと見た時に分かりにくい部分があるので、伝え方に工夫いただければと思う。

**(C委員)**

伝わりづらい部分は確かにあるので、ホームページ及び紙資料において6色展開、単一デザインである旨をしっかりと記載するほか、カラーバリエーションという言葉も分かりづらいので、デザイン案1、2、3とするなど、誤解を生じないように気をつけたい。

**(F委員)**

車両デザインの色味について、同じグレーでも40p、41pで濃さが異なっているので分かりづらいほか、前面のジオパークラインロゴも全案に付くのであれば、その旨を記載した方がよい。また、米俵を思わせるスリットラインが具体的にどこを指すのか、横方向のスリットラインについても白山連峰と日本海はどこを指すのかが分かりにくいので、広報の際には工夫いただきたい。

**(C委員)**

色味に関しては、ステンレスなので光の当たり具合で違った見え方になると思っているが、誤解を招かないようにしたいと思う。スリットラインに関しては、ホームページ等でデザインのコンセプトを掲載するので、その中でしっかり伝えていきたい。

## 4 閉 会